



令和 2 年度 (2020.4~2021.3)

日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト  
(NipCA プロジェクト)

Nippon-Foundation Central Asia-Japan Human Resource  
Development Project

事業報告書

筑波大学



事業 ID: 2019523839

令和 2 年度 (2020. 4~2021. 3)

## 「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」

### 活動概要

筑波大学は、大学の世界展開力強化事業「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム」(2014.3~2019.3)の教育レガシーの一部を継承・発展させた新しいグローバル人材育成事業として、公益財団法人 日本財団から教育・研究助成を受け、2019年1月から「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト」(以下、NipCA プロジェクト)を開始しました。

本事業は、日本財団、日本・中央アジア友好協会 (JACAFA)、筑波大学の三者が協力・連携し、中央アジア (アゼルバイジャンを含む 6 カ国) 地域の「持続可能な開発目標 SDGs」の達成と当該地域社会の課題解決に貢献できる人材を育成することを目的としたものです。2 年目は、本学 NipCA プロジェクト運営委員会 (委員長: 清水諭副学長・理事【教育担当】、副委員長: ベントンキャロライン副学長・理事【国際担当】、副委員長: 原晃副学長・理事【医療担当】、附属病院長) で承認を受けた事業計画に基づき、大学執行部の助言と指導の下、実務責任者 1 名 (教授)、実務副責任者 2 名 (教授)、プロジェクト専従准教授 1 名、プロジェクト専従助教 1 名、コーディネーター 1 名 (University International Administrator)、研究員 3 名、事務スタッフ 2 名で実務・運営を行いました。なお、大学院等の教育活動においては、人文社会系専任教員 6 名 (教授 3 名、准教授 2 名、助教 1 名) から本プロジェクトに係る教育・研究上の支援を受けました。

活動内容としては、①日本財団、JACAFA、筑波大同窓生ネットワーク連携活動、②中央アジア・日本の双方向の教育・研究交流、③中央アジアに関係する国内外のネットワーク強化や公開シンポジウム等による教育・研究成果の社会への還元を目指した基盤構築活動の 3 つをプロジェクトの柱として展開しています。

NipCA プロジェクト人材育成の柱として、2019 年 10 月には、中央アジア及びアゼルバイジャン出身の 7 名 (その内 1 名は家庭の事情により 2020 年 1 月に退学) の優秀な留学生を筑波大学大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻の正規学生として受け入れました。これらの留学生全員に対して、NipCA プロジェクトのフェロースHIP 生として、渡航費、学費、寮費、生活費が支給され、安心して学位取得のための勉学に打ち込める環境が用意されました。さらに、フェロースHIP 生が平日いつでも利用できる SDGs 資料室 (兼小会議室) も整備しました。フェロースHIP 一期生たちは、互いに励まし合い、また指導教員から厳しくも温かい研究指導を受けながら、恵まれた研究・学習環境で自身の研究テーマに打ち込んだ結果、一年半の期間で、第 1 期フェロースHIP 生 6 名 (病気のため半年間学業を延長した 1 名を除く) が優秀な成績で学位 (修士/国際公共政策) を取得することができました。2021 年 3 月には、第 1 期 NipCA フェロースHIP 5 名と 9 月修了予定の 1 名が日本財団を表敬訪問し、日本財団の笹川陽平会長から、各フェロースHIP 生に「第 1 期

笹川 NipCA フェロー認定証」を授与していただき、将来、中央アジア諸国・地域の各界のリーダーとして社会課題解決に資する有為の人材になることを期待する激励のお言葉を頂戴いたしました。

2020年10月には第2期 NipCA フェロー8名も筑波大学大学院人文社会科学研究科に入学し、コロナ禍の影響によりまだ来日が叶わず母国でオンライン授業を受けている状況ですが、人文社会系専任教員の指導の下、研究活動に従事しています。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中始まった2年目は、オンラインに切り替えて多くのイベントを実施することができました。6月～7月にかけては、「オンライン留学に関するラウンド・テーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」を計5回開催し、新型コロナウイルス禍のため対面授業が受けられなくなった筑波大学の留学生6名の報告を中心にオンライン留学に関する議論を深める場を設けました。7月と11月には、筑波大学入学以降、いまだ対面授業が受けられず、ほとんどの学生が入構も出ていない現実を踏まえ、新入生のための特別講演会「新入生に贈るオンライン講演会」をオンラインで開催しました。その他、留学報告会の実施、学会参加などに加え、前年度に計10回開催した公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」は2年目に計13回開催し、オンラインに切り替えたことで、前年度を上回る多くの聴講者に参加していただきました。2月には、NipCA プロジェクト主催「第1回ロシア・中央アジア映画上映会」を開催し、SDGs 推進と中央アジアの文化紹介を兼ねて、ロシア・中央アジアの未公開作品に字幕をつけて日本初上映する、申込者が500名を超えるイベントも実施しました。

2年目は、広報活動を充実させ、ニュースレター『中央アジアと日本』の刊行に加え、公開講演会や留学報告会などについても冊子化とインターネット上での公開を進めました。コロナ禍で対面活動が制限される中、出版物の刊行に力を入れた結果、広報活動の予算は大幅に上回ることになりましたが、1年目で2点に留まっていた出版物を、2年目では15点まで増やすことができました。さらに、本プロジェクトのホームページ (<https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp>) 記事も充実させ、広報活動の基盤づくりを進めました。具体的には、英語とロシア語のホームページを完成させることができました。今後は、可能な範囲で一層他言語化を図り、中央アジアの諸言語のホームページづくりにも注力していく予定です。

NipCA プロジェクト2年目は、新型コロナウイルス感染症が収束せず派遣・受入事業を実施できない中、活動の中心をオンラインに切り替えて、公開講演会をはじめとする多くのイベントを企画・組織しました。全体として、年次計画の目標を達成し、前年度以上の十分な成果をあげることができました。

「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」

令和 2 (2020 年) 度活動計画および活動実績

項目	活動計画	活動内容
NipCA プロジェクト 継続 (4 月)	2020 年 4 月から「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」2 年目を開始する。	公益財団法人日本財団から教育・研究助成を受け、2020 年 4 月から「日本財団中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」2 年目を開始した。
運営体制の維持・継続 (4 月～)	学位取得を目的する正規留学生の受入業務という新しいミッションを持った NipCA プロジェクトを軌道に乗せ、事業を安定的に推進し、本プロジェクト運営を確実なものにするために、前年度と同程度以上の教職員数の雇用を進める。	<p>① 非常勤研究員 3 名 (中央ユーラシア留学生学務・生活支援担当、中央ユーラシア海外研修・海外インターンシップ等国際交流実務支援担当、うち 1 名は令和 2 年 6 月 30 日付けで退職)、非常勤事務職員 (会計担当) を 2 名継続雇用した。</p> <p>② 2020 年 4 月より University International Administrator を 1 名 (広報・企画・運営等担当)、新たに雇用した。</p> <p>③ 2020 年 6 月より本プログラム担当専任准教授を 1 名採用した (SDGs 関連科目、インターンシップ科目等の教育業務、プロジェクト全体の企画・運営の推進等)。</p> <p>④ 2020 年 10 月より NipCA フェローの支援体制を整えるため、非常勤研究員を 1 名 (論文指導サポート担当)、新たに雇用した。</p> <p>⑤ 2021 年 2 月より本プログラム担当専任助教を 1 名採用した (SDGs 関連科目、インターンシップ科目等の教育業務等)。</p>
SDGs 資料室整備 (4 月～)	NipCA フェローが研究を進めるための SDGs 資料室の環境を整え、参考文献を購入した。	NipCA フェローが研究を進める上での SDGs 資料室の環境を整え、修士論文を執筆する上での参考文献希望図書リストを作成し英語文献を中心に購入した。
広報活動 (4 月～)	本事業を学内外に広報するために、ニューズレター作成、および専用ウェブサイトでの広報活動を行う。	「日本財団中央アジア・日本人材育成プロジェクト」のニューズレター第 3 号を 7 月、第 4 号を 1 月に刊行した。「日本財団中央アジア・日本人材育成プロジェクト」ウェブサイトの日本語・英語・ロシア語の記事を充実させ、中央アジアの多言語化を進めた。  <a href="https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp">https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp</a>
オンライン留学に関するラウンド・テーブル (6 月～7 月)	新型コロナウイルス禍のため対面授業が受けられなくなった留学生 6 名の報告を中心に、「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」全 5 回を開催。	ロシア・ポーランドの大学に留学中及びオンライン留学中の筑波大学 学類生・院生 6 名の報告を中心に、オンライン留学・学習の問題点・改善点を議論し、オンライン留学・学習の可能性について考察した。主催は、筑波大学日本財団「中央アジア・日本人材育成プロジェクト」(NipCA プロジェクト)。日本・中央アジア友好協会 (JACAFA)、筑波大学 CEGLOC 社会貢献委員会、グローバル・コモ

		<p>ンズ機構、国際室、学生交流課、SGU 事業推進室、日本留学海外拠点連携推進事業、人文・文化学群、社会・国際学群の協力によって行なった。全5回の内容を冊子として刊行した。</p> <p>① 第1回「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」</p> <p>テーマ：オンライン授業形態別（Teams や Skype など）の改善・解決策</p> <p>開催日：2020年6月19日（金）16：00～17：00</p> <p>会場：Teams</p> <p>発表者：西川将太郎（社会・国際学群国際総合学類、ワルシャワ大学留学）、石川織羽（人文・文化学群人文学類、モスクワ国立大学留学）、西美乃里（社会・国際学群国際総合学類、サンクトペテルブルク大学留学）、小山正伍（人文・文化学群人文学類、極東連邦大学留学）、安井梨乃（社会・国際学群国際総合学類、ノヴォシビルスク国立大学留学）、米山貴文（文芸・言語専攻博士課程、モスクワ市立教育大学留学）</p> <p>総括・討論者：白山利信（人文社会系教授）、加藤百合（人文社会系教授）、小野正樹（人文社会系教授）、山本祐規子（人文社会系准教授）、笹山啓（人文社会系非常勤研究員）</p> <p>司会：梶山祐治（NipCA プロジェクト コーディネーター）</p> <p>② 第2回「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」</p> <p>テーマ：レポート・小テスト・宿題のやり方 方法と課題</p> <p>開催日：2020年6月26日（金）16：00～17：00</p> <p>会場：Teams</p> <p>発表者：西川将太郎（社会・国際学群国際総合学類、ワルシャワ大学留学）、石川織羽（人文・文化学群人文学類、モスクワ国立大学留学）、西美乃里（社会・国際学群国際総合学類、サンクトペテルブルク大学留学）、小山正伍（人文・文化学群人文学類、極東連邦大学留学）、安井梨乃（社会・国際学群国際総合学類、ノヴォシビルスク国立大学留学）、米山貴文（文芸・言語専攻博士課程、モスクワ市立教育大学留学）</p> <p>総括・討論者：白山利信（人文社会系教授）、加藤百合（人文社会系教授）、小野正樹（人文社会系教授）、山本祐規子（人文社会系准教授）、笹山啓（人文社会系非常勤研究員）</p> <p>司会：梶山祐治（NipCA プロジェクト コーディネーター）</p>
--	--	--

		<p>③ 第3回「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」</p> <p>テーマ：オンライン授業を受けることの精神的・肉体的・物理的な負担 何が起きたか・どう解決したか</p> <p>開催日：2020年7月2日（木）16:45～17:45</p> <p>会場：Teams</p> <p>発表者：西川将太郎（社会・国際学群国際総合学類、ワルシャワ大学留学）、石川織羽（人文・文化学群人文学類、モスクワ国立大学留学）、西美乃里（社会・国際学群国際総合学類、サンクトペテルブルク大学留学）、小山正伍（人文・文化学群人文学類、極東連邦大学留学）、安井梨乃（社会・国際学群国際総合学類、ノヴォシビルスク国立大学留学）、米山貴文（文芸・言語専攻博士課程、モスクワ市立教育大学留学）</p> <p>総括・討論者：白山利信（人文社会系教授）、加藤百合（人文社会系教授）、小野正樹（人文社会系教授）、山本祐規子（人文社会系准教授）、笹山啓（国際室助教）</p> <p>司会：梶山祐治（NipCA プロジェクト コーディネーター）</p> <p>④ 第3回「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」</p> <p>テーマ：教員から見たオンライン教育</p> <p>開催日：2020年7月9日（木）16:45～17:45</p> <p>会場：Teams</p> <p>発表者：土井裕人（人文社会系助教）</p> <p>総括・討論者：白山利信（人文社会系教授）、加藤百合（人文社会系教授）、小野正樹（人文社会系教授）、久保田章（人文社会系教授）、Boitsov Ivan（人文社会系准教授）、山本祐規子（人文社会系准教授）、笹山啓（国際室助教）、西川将太郎（社会・国際学群国際総合学類、ワルシャワ大学留学）、石川織羽（人文・文化学群人文学類、モスクワ国立大学留学）、西美乃里（社会・国際学群国際総合学類、サンクトペテルブルク大学留学）、小山正伍（人文・文化学群人文学類、極東連邦大学留学）、安井梨乃（社会・国際学群国際総合学類、ノヴォシビルスク国立大学留学）、米山貴文（文芸・言語専攻博士課程、モスクワ市立教育大学留学）</p> <p>司会：梶山祐治（NipCA プロジェクト コーディネーター）</p>
--	--	--



		<p>⑤ 第5回「オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～」</p> <p>テーマ：コロナ終息後のオンライン授業について ―オンライン授業の可能性</p> <p>開催日：2020年7月17日（金）17:45～19:00</p> <p>会場：Teams</p> <p>発表者：西川将太郎（社会・国際学群国際総合学類、ワルシャワ大学留学）、石川織羽（人文・文化学群人文学類、モスクワ国立大学留学）、西美乃里（社会・国際学群国際総合学類、サンクトペテルブルク大学留学）、小山正伍（人文・文化学群人文学類、極東連邦大学留学）、安井梨乃（社会・国際学群国際総合学類、ノヴォシビルスク国立大学留学）、米山貴文（文芸・言語専攻博士課程、モスクワ市立教育大学留学）</p> <p>総括・討論者：白山利信（人文社会系教授）、加藤百合（人文社会系教授）、小野正樹（人文社会系教授）、山本祐規子（人文社会系准教授）、土井裕人（人文社会系助教）、笹山啓（国際室助教）</p> <p>司会：梶山祐治（NipCA プロジェクト コーディネーター）</p>
<p>JACAFA 日本研修プログラム （6月）</p>	<p>NipCA プロジェクトと JACAFA（日本・中央アジア友好協会）と連携・協力し、JACAFA 同窓生のための日本研修プログラムを実施する。プログラムの中に、本学 GENIS プログラム生とのラウンドテーブルや、本学の研究施設等視察の機会を提供する。</p>	<p><b>*新型コロナウイルス禍により中止</b></p>
<p>新入生に贈るオンライン講演会 （7月～11月）</p>	<p>筑波大学入学以降、いまだ対面授業が受けられず、ほとんどの学生が入構も出来ていない現実を踏まえ、新入生のための特別講演会をオンラインで開催する。</p>	<p>オンライン教育を余儀なくされ奮闘している新入生のためにメールを贈り、今後のキャンパスライフへの活力と知的好奇心の向上に繋げられるような機会を提供した。本イベントは、本学教職員 SD 研修の一環としても行われた。主催は筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト」。グローバル・コモンズ機構、グローバルコミュニケーション教育センター、スーパーグローバル大学 (SGU) 事業推進室との共催、筑波大学学生部、国際室との協力でオンラインで開催した。当日ライブ視聴できない学生のために、manaba にて2週間限定で講演動画を配信した。</p> <p>① 講師：當作靖彦氏（カリフォルニア大学サンディエゴ校 教授）</p> <p>テーマ：グローバル時代の国境を越えて働く人材の育成 ～ポ</p>

		<p>ストコロナをたくましく生きていくために～</p> <p>日時：2020年7月20日（月）15:15～16:15</p> <p>会場：Zoom Meeting</p> <p>オンライン聴講者 155名</p> <p>② 講師：落合陽一氏（筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センターセンター長）</p> <p>テーマ：明日の世界を読み、考え、挑む</p> <p>日時：2020年11月6日（金）18:00～19:15</p> <p>会場：Zoom Meeting</p> <p>オンライン聴講者名 256名</p>
<p><b>学会参加</b> (7月～12月)</p>	<p>NipCAプロジェクトに関わる本学人文社会系中央ユーラシア研究ユニットの教員・院生に対し、研究推進を後押しする目的で、学会参加への支援を行う。また、本プロジェクトに直接寄与する中央ユーラシアの研究者に対しても、可能な範囲で支援する。</p>	<p>① 学会名：日本外国語教育推進機構（JACTFL）</p> <p>第1回 JACTFL オンラインシンポジウム</p> <p>コロナに負けない多言語教育～小・中・高・大の現場からの経過報告～</p> <p>タイトル：初修外国語のオンライン教育の現場からー筑波大学のロシア語教育で見えてきた課題ー</p> <p>発表者：白山利信、加藤百合、笹山啓、梶山祐治、山本祐規子（筑波大学）</p> <p>開催日：2020年7月5日（日）</p> <p>会場：Zoom</p> <p>② 学会名：日本外国語教育推進機構（JACTFL）</p> <p>第2回 JACTFL オンラインシンポジウム</p> <p>コロナをプラスに転じる多言語教育</p> <p>タイトル：ロシアでオンライン授業を受けてーモスクワ市立教育大学の事例からー</p> <p>発表者：米山貴文（筑波大学大学院博士課程）</p> <p>開催日：2020年9月5日（日）</p> <p>会場：Zoom</p> <p>③ 学会名：日本ロシア語教育研究会</p> <p>ロシア語教育研究集会 2020</p> <p>Итоговое собрание Японского общества по исследованию проблем преподавания русского языка 2020</p> <p>タイトル：コロナ禍のロシア語オンライン教育から新たな教育形態の可能性を探る</p> <p>発表者：白山利信、加藤百合、Boitsov Ivan、梶山祐治、笹山啓、</p>

		<p>山本祐規子（筑波大学）</p> <p>開催日：2020年12月6日(日)</p> <p>会場：Zoom</p> <p>④ 学会名：日本外国語教育推進機構（JACTFL） 第3回 JACTFL オンラインシンポジウム コロナから立ち上がる多言語教育 タイトル：「オンライン授業と対面授業の間で奮闘する教育現場ーモスクワ市立教育大学の事例を中心としてー」 発表者：米山貴文（筑波大学大学院博士課程） 開催日：2020年12月20日（日） 会場：Zoom</p>
<p><b>公開講演会 (7月～3月)</b></p>	<p>本事業の広い意味での地域社会貢献と、NipCA プロジェクトのフェローシップのみならず、学内の教職員、学外の研究者・学生たちへの問題意識の喚起を促す目的で、中央ユーラシア地域と日本が抱える社会的な課題や地球規模的課題に係るテーマで、有識者による公開講演会を実施する。筑波大学SGU 事業の一環としても行う。</p>	<p>「日本財団中央アジア・日本人材育成プロジェクト」主催連続公開講演会「中央ユーラシアと日本の未来」をオンラインで開催。当日ライブ視聴できなかった視聴者のために、manaba にて2週間限定で講演動画を配信した。</p> <p>① 講師：市川政雄氏（筑波大学 医学医療系教授） テーマ：モンゴルの子どもの熱傷事故から守る生活環境改善プロジェクト 開催日：2020年7月30日（木）13:45～15:00 会場：Zoom 申込者数 53 名（参加者数 49 名）</p> <p>② 講師：クリコフ・マキシム氏（ロシア民族音楽教室「マキシム」主宰） テーマ：ロシアの文化的アイデンティティとしての楽器「バラライカ」 開催日：2020年8月24日（月）14:00～15:30 会場：Zoom 申込者数 86 名（参加者数 81 名）</p> <p>③ 講師：鹿毛理恵氏（沖縄国際大学 准教授） テーマ：アジアの人材育成ー日本の外国人介護人材受け入れ制度についてー 開催日：2020年9月29日（火）14:00～15:30 会場：Zoom 申込者数 58 名（参加者数 51 名）</p>

		<p>④ 講師：森祐介氏（つくば市持続可能都市戦略室 政策イノベーション部長）  テーマ：SDGs 未来都市つくばの取組み～世界のあしたが見える町。を目指して～  開催日：11月16日（月） 13:45～15:00  会場：Zoom  申込者数 51名（参加者数 51名）</p> <p>⑤ 講師：岡本啓史氏（ユニセフ 教育専門家）  テーマ：4大陸、6勤務国、35国への国際教育支援を通して  開催日：11月20日（金） 17:30～18:45  会場：Zoom  申込者数 71名（参加者数 68名）</p> <p>⑥ 講師：澤田浩子氏（筑波大学 人文社会系准教授）  テーマ：つくば市の外国人児童生徒の日本語教育等の支援をめぐって～現状と課題、コロナ後を見据えて～  開催日：2020年11月30日（月） 13:45～15:00（予定）  会場：Zoom  申込者数 76名（参加者数 67名）</p> <p>⑥ 講師：山下正美氏（放送大学・洗足学園音楽大学 非常勤講師）  テーマ：南シベリア・トゥバの民族楽器製作  開催日：2020年12月14日（月） 13:45～15:00  会場：Zoom  申込者数 35名（参加者数 30名）</p> <p>⑧ 講師：近藤高史教授（東京福祉大学 教授）  テーマ：パキスタンの環境問題  開催日：2020年12月18日（金） 16:00～17:15  会場：Zoom  申込者数 50名（参加者数 46名）</p> <p>⑨ 講師：ヴァンパーレン・ルート氏（筑波大学 人文社会系准教授）  テーマ：ベルギーの多文化共生と移民問題  開催日：2021年2月22日（月） 15:15～16:30  会場：Zoom</p>
--	--	--

		<p>申込者数 89 名（参加者数 71 名）</p> <p>⑩ 講師：相馬拓也氏（京都大学 白眉センター特定准教授） 「ヒマラヤにおける植林事業と地域コミュニティー」 開催日：2021 年 2 月 26 日（金）13:45～15:00 会場：Zoom 申込者数 57 名（参加者数 41 名）</p> <p>⑪ 講師：東田範子氏（東京藝術大学大学院 音楽研究科音楽文化学専攻博士課程） テーマ：口頭伝承の再文脈化：カザフ伝統音楽の現代的教育法 開催日：2021 年 3 月 5 日（金）14:00～15:15 会場：Zoom 申込者数 93 名（参加者数 68 名）</p> <p>⑫ 講師：木村護郎クリストフ氏（上智大学 教授） テーマ：「やさしい言語はだれのため？—ドイツ語の <i>leichte Sprache</i>（やさしいことば）から考える」 開催日：3 月 12 日（金）16:00～17:15 会場：Zoom 申込者数 105 名（参加者数 76 名）</p> <p>⑬ 講師：小川暁道（東京外国語大学 非常勤講師） テーマ：変貌する現代ウクライナにおける言語・社会と文化 開催日：3 月 17 日（水）16:00～17:15 会場：Zoom 申込者数 90 名（参加者数 68 名）</p>
<p>海外研修（2 月～9 月）</p>	<p>① 日本人学生への現地でのロシア語とキルギス語の学習、学生交流、現地企業等の視察の機会を提供する海外研修（キルギス）を行い、コミュニケーション力、異文化理解力と国際感覚を涵養する。</p>	<p><b>*新型コロナウイルス禍により中止</b></p>
<p>EMI 研修参加（9 月）</p>	<p>大学院での英語による専門教育の質向上を図るための FD 研修を実施する。</p>	<p>日時：2020 年 9 月 11 日（金）～18 日（金） English as Medium of Instruction（EMI）研修 主催：オックスフォード大学 形式：オンライン</p>

		参加者：山本祐規子准教授（NipCA プロジェクト担当教員）
Tsukuba Global Science Week (TGSW) 2020 参加 (9月～10月)	オンライン開催となった Tsukuba Global Science Week (TGSW)2020 の「デジタルポスターセッション」で中央ユーラシア研究ユニットの研究成果の一部を発表する。	<p>Tsukuba Global Science Week (TGSW) 2020</p> <p>デジタルポスターセッション名：Culture and identity in Central Asia</p> <p>報告者：梶山祐治（NipCA プロジェクトコーディネーター）</p> <p>題目：Modern Kyrgyz Film Studies –The first musical film in Kyrgyz language–</p> <p>報告者：インセバリエヴァ・サビーナ（人文社会系非常勤研究員）</p> <p>題目：Kazakh national identity through Kazakh popular music</p> <p>報告者：グロマリエフ・シラリ（人文社会系非常勤研究員）</p> <p>題目：Wakhi people and their settlement area</p> <p>デジタルポスターセッション公開期間：2020年9月18日（金）～10月18日（日）</p> <p>会場：<a href="https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/">https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/</a></p> <p>Zoom 発表日時：2020年10月20日（金）17:00～18:00</p> <p>会場：Zoom</p> <p>オンライン聴講者 40名</p>
出版物 (9月～3月)	社会貢献の一環として、NipCA プロジェクトの事業内容を国内外に発信する目的で、広報誌であるニューズレター以外の出版物についても充実させる。出版物には ISBN を交付して刊行する。	<p>① 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第8回講演会冊子</p> <p>発行所：NipCA プロジェクト</p> <p>発行日：2020年4月1日（水）</p> <p>部数：200部</p> <p>② 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第11回講演会冊子</p> <p>発行所：NipCA プロジェクト</p> <p>発行日：2020年9月1日（火）</p> <p>部数：150部</p> <p>③ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第12回講演会冊子</p> <p>発行所：NipCA プロジェクト</p> <p>発行日：2020年9月15日（火）</p> <p>部数：80部</p> <p>④ 「NipCA プロジェクト主催 オンライン留学に関するラウンドテーブル～コロナ禍の困難から見出す新しい教育の可能性～報告書」</p> <p>発行所：NipCA プロジェクト、グローバルコミュニケーション</p>

		<p>教育センター、グローバル・コモンズ機構  発行日：2020年9月30日（水）  部数：100部</p> <p>⑤ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第13回  講演会冊子  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2020年11月1日（日）  部数：80部</p> <p>⑥ 事業報告書（概要）  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2020年12月1日（火）  部数：80部  （2021年2月に50部追加で増刷）</p> <p>⑦ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第14回  講演会冊子  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2020年12月1日（火）</p> <p>⑧ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第15回  講演会冊子  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2020年12月15日（火）  部数：100部</p> <p>⑨ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第16回  講演会冊子  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2021年1月15日（金）  部数：100部</p> <p>⑩ ニュースレター「中央アジアと日本の未来」4号  発行所：NipCAプロジェクト  発行日：2021年1月28日（木）  部数：300部</p>
--	--	---

		<p>⑪ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第 17 回 講演会冊子 発行所：NipCA プロジェクト 発行日：2021 年 2 月 1 日（月） 部数：100 部</p> <p>⑫ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第 18 回 講演会冊子 発行所：NipCA プロジェクト 発行日：2021 年 2 月 15 日（月） 部数：100 部</p> <p>⑬ 筑波大学秋季留学フェア〈IMAGINE THE FUTURE 留学！〉 2019 年度派遣学生による留学報告会（ロシア・NIS 諸国）報告書 発行所：筑波大学グローバル・コモンズ機構、NipCA プロジェクト 発行日：2021 年 3 月 1 日（月） 部数：250 部</p> <p>⑭ 2020 年度 筑波大学「オンラインによる第一回 新入生に贈る特別講演会」講演会冊子 発行所：NipCA プロジェクト 発行日：2021 年 3 月 15 日（月） 部数：300 部</p> <p>⑮ 公開講演会シリーズ「中央ユーラシアと日本の未来」第 11 回 講演会英語版冊子 発行所：NipCA プロジェクト 発行日：2021 年 3 月 20 日（土） 部数：300 部</p>
第 2 期 NipCA フェロ ーシップ生受入 （10 月）	筑波大学大学院人文社会ビジネス 科学学術院人文社会科学研究群国 際公共政策学位プログラムの入試 合格者である NipCA フェローシッ プ生 8 名を受け入れる。	筑波大学人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際公 共政策学位プログラムに第 2 期 NipCA フェローシップ生 8 名が入 学した。コロナ禍のため、来日できず、授業と研究指導をオンライ ンで受けた。
留学フェアおよび留 学報告会	筑波大学グローバルコモンズ機構 主催の留学フェアに参加し、ロシ	グローバルコモンズ機構主催「筑波大学秋季留学フェア〈IMEGINE THE FUTURE 留学！〉」の一環で、「2019 年度派遣学生による留学



(10月)	ア・NIS 諸国などに関する留学情報を学生に提供する。	報告会（ロシア・NIS 諸国など）をオンラインで開催した。 日時：2020年10月30日（金）18:10～19:10 会場：Zoom オンライン聴講者 40名
第2回運営委員会 (10月)	Ge-NIS+「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」「ロシア・日本人材育成プロジェクト」令和2年度第2回プロジェクト運営委員会を開催し、本プロジェクトの承認を受ける。	日時：2020年10月24日（火）16:00～17:00 会場：Zoom 出席委員：出席委員（敬称略）：清水論 運営委員会委員長（教育担当副学長・理事・グローバル教育院長）、ベントン・キャロライン 運営委員会副委員長（国際担当副学長・理事・グローバル・commons 機構長）、原見運営委員会副委員長（医療担当副学長・理事・附属病院長）、田中健太郎（国際担当副理事、坪内孝司（教学デザイン室長）、水野晴央（教育推進部長）、倉橋節也（ビジネス科学研究群長）、大倉浩（人文・文化学群長）、鄭仁豪（人間学群長）、白山利信（NipCA プロジェクト実務責任者・人文社会系教授・グローバルコミュニケーション教育センター長）、小野正樹（NipCA プロジェクト副実務責任者・人文社会系教授）、加藤百合（NipCA プロジェクト副実務責任者・人文社会系教授）、ダダバエフ・ティムール（NipCA プロジェクト協力教員・人文社会系教授）、鈴木寛之（国際室担当課長）、関本啓子（学生交流課長）、鈴木早苗（人文社会エリア支援室長）、安達理佳（グローバル・commons 機構担当課長）
駐日ウズベク大使表 敬訪問 (11月)		日時：2020年11月26日（木） 場所：本部棟4階 出席者：ガイラト・ガニエヴィチ・ファジーロフ（駐日ウズベキスタン大使）、永田恭介（学長）、ベントン・キャロライン（国際担当副学長）、鈴木寛之（国際室担当課長）、山本祐規子（人文社会系准教授）、梶山祐治（NipCA プロジェクトコーディネーター）
アルファラビ・カザフ国立大学 筑波大学オフィス開設セレモニー開催 (12月)		筑波大学にてアルファラビ・カザフ国立大学 筑波大学オフィスの開設セレモニーを開催された。 日時：2020年12月22日（火） 場所：スチューデント・commons 出席者：永田恭介学長、ベントン・キャロライン副学長（国際担当）、大根田修国際室長、国際室鈴木寛之課長、グローバル・commons 機構安達理佳課長、人文社会系 白山利信教授、人文社会系 小野正樹教授、パウダルベック・コジャタエフ イエルラン駐日カザフスタン共和国特命全権大使、マクサット・サリエフ参事官、バキトジャン・スユンディコフ参事官
NipCA プロジェクト 主催「ロシア・中央	SDGs 推進と中央アジアの文化紹介を兼ねて、ロシア・中央アジア	日時：2021年2月5日（金）18:10～18:30 上映作品：ラリーサ・サディオロワ『マヤ』（2013年、88分）

<p><b>アジア映画上映会」</b> (2月)</p>	<p>の未公開作品に字幕をつけて日本初上映し、解説も行う。</p>	<p>作品解説：梶山祐治 (NipCA プロジェクト コーディネーター) 「現代ロシア映画における中央アジア移民労働者の表象」 会場：Zoom 18:30～20:00 ラリーサ・サディロワ『マヤ』上映 会場：Vimeo 参加者：申込者数 511 名 (参加者数 405 名)</p>
<p><b>第2回外部評価委員会</b> (2月)</p>	<p>Ge-NIS プロジェクトの活動での外部評価の経験を踏まえて、外部評価委員会が本プロジェクトの実施状況を評価するとともに、同委員会と本プロジェクト実務者が改善に向けた協議を行う。</p>	<p>外部評価委員：當作靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校 教授)、小野澤正喜 (育英短期大学 教授)、藤谷浩至 (国際協力機構 評価部 部長)、中里太治 (国際協力機構 東・中央アジア部 部長)、武田善憲 (外務省欧州局 中央アジア・コーカサス室 室長)、村山えりか (つくば市市民部 市民活動課 国際交流室 室長) 日時：2020年2月12日 (金) 13:00～15:00 会場：Zoom</p>
<p><b>第1期笹川フェロー修了式</b> (3月)</p>	<p>大学院修士課程を修了する第1期 NipCA フェローが、第1期笹川 NipCA フェロー修了式に出席するとともに、日本財団笹川陽平会長に対して、帰国前に御礼と感謝のご挨拶を行う。</p>	<p>筑波大学大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻修士課程 Special Program in Japanese and Eurasian Studies (SPJES) を修了した第1期 NipCA フェロー5名と9月修了予定の1名が日本財団を表敬訪問し、日本財団の笹川陽平会長から、各フェローに「第1期笹川 NipCA フェロー認定証」が授与された。 日時：2021年3月16日 (火) 場所：日本財団 参加者：第1期 NipCA フェロー6名、人文社会系 白山利信教授、人文社会系 山本祐規子准教授、梶山祐治 (NipCA プロジェクト コーディネーター)</p>
<p><b>海外研修</b> (2月～3月)</p>	<p>①日本人学生への現地でのロシア語とカザフ語の学習、学生交流、現地企業等の視察の機会を提供する海外研修 (カザフスタン) を行い、コミュニケーション力、異文化理解力と国際感覚を涵養する。 ②医学群の学生を対象に、医学医療視察研修を実施し、ロシア (モスクワ) 及びカザフスタン (ヌルスルタン・アルマトイ) の医科大学や医療機関、研究機関などを訪問する。</p>	<p><b>*新型コロナウイルス禍により中止</b></p>

\*計画した事業の実施に向けて最後まで準備・調整を行ったが、新型コロナウイルス禍の中、学生及び教職員の生命と健康を守ることを最優先し、事業を中止した。

資料1 NipCA フェロー(1期生6名、2019年度10月入学)の修士論文題目一覧

筑波大学大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻(修士課程)  
Special Program in Japanese and Central Eurasian Studies

	氏名	国籍	修士論文題目
1	Boteu Saltanat ボテウ・サルタナト	カザフスタン	Environmentally Friendly Consumption from the Perspective Environmental Entrepreneurs in Kazakhstan
2	Muratbekova Aigerim ムラトベコヴァ・アイゲリム	キルギス	Exploring the Causes of School Bullying in Kyrgyzstan and Prevention Measures Through Policy and Actor Perspectives
3	Qambarova Nilufar カムバロヴァ・ニルファル	タジキスタン	Understanding Gender Roles of Ismaili Pamiri Women in a Traditional Society
4	Aliyeva Tubu アリエヴァ・トゥブ	アゼルバイジャン	The Development of Socially Sustainable Urban Tourism in Baku: Exploring Residents' Attitudes
5	Zakaryanov Ilyas ザカリヤノフ・イリヤス	カザフスタン	Agritourism's Contribution to Sustainable Development in Rural Areas of the Republic of Kazakhstan: A Case Study of the East Kazakhstan Region
6	Geldiyeva Mivegozel ゲルディエヴァ・ミヴェゴゼル	トルクメニスタン	2021年9月修了予定

資料2 令和2年(2020年)度 NipCA フェロー(2期生8名)一覧

	氏名	国籍	研究テーマ
1	Abdullayev Ramil アブドゥラエフ・ラミル	アゼルバイジャン	Supporting the promotion of inclusive education in the Universities of Azerbaijan for realizing cohesive society by examining Japanese experience
2	Mukhamejanova Aizhan ムハメジャノヴァ・アイジャン	カザフスタン	The role of development agencies working in Kazakhstan in the implementation of Strategy 2050 and achievement of SDGs
3	Nurlan kyzy Aliia ヌルラン・キジ・アリヤ	キルギス	The connection between gender equality issue and politics
4	Osmonova Gulzada オスモノヴァ・グルザダ	キルギス	Child labor in Kyrgyzstan; reasons and results of this issue
5	Ospanova Sofya オspanoヴァ・ソフィヤ	アゼルバイジャン	A comparative study between Azerbaijan and Japan in order to investigate the role of tourism in economic and environmental sustainability of newly formed states
6	Rajabova Manizha ラジャボヴァ・マニジャ	タジキスタン	Globalization and the Eurasian region: problems and prospects
7	Suiunbekova Saikal スイウンベコヴァ・サイカル	キルギス	Importance of Japanese Anime in the Identity Structure of Youth
8	Tursyn Nazerke トゥルスン・ナゼルケ	カザフスタン	Budget allocation in disaster risk management: the case of spring floods in Kazakhstan

資料 3 令和 2 年(2020 年)度 プロジェクト運営委員会委員一覧

敬称略

	役割等	氏 名	所属・役職
1	委員長	清水 諭	副学長（教育担当）・理事 グローバル教育院長
2	副委員長	ベントン キャロライン	副学長（国際担当）・理事 グローバル・コモンズ機構長
3	副委員長	原 晃	副学長（医療担当）・理事・附属病院長
4	委員	青木 三郎	大学執行役員・人文社会系長
5	委員	加藤 光保	大学執行役員・医学医療系長
6	委員	西保 岳	大学執行役員・体育系長
7	委員	小川 園子	大学執行役員・人間系長
8	委員	大根田 修	大学執行役員・国際室長
9	委員	田中 健太郎	副理事（国際担当）
10	委員	坪内 孝司	教学デザイン室長
11	委員	水野 晴央	教育推進部長
12	委員	佐藤 勤	学生部長
13	委員	平松 祐司	附属病院副病院長・同院国際医療センター長 医学医療系教授
14	委員	西尾 チヅル	人文社会ビジネス科学学術院長
15	委員	竹中 佳彦	人文社会科学研究群長
16	委員	倉橋 節也	ビジネス科学研究群長
17	委員	大倉 浩	人文・文化学群長
18	委員	関根 久雄	社会・国際学群長
19	委員	鄭 仁豪	人間学群長
20	委員	木塚 朝博	体育専門学群長
21	委員	田中 誠	医学群長
22	委員	榊 正幸	医学類長
23	委員	白山 利信	本プロジェクト実務責任者・人文社会系教授 グローバルコミュニケーション教育センター長
24	委員	小野 正樹	本プロジェクト副実務責任者・人文社会系教授
25	委員	加藤 百合	本プロジェクト副実務責任者・人文社会系教授
26	委員	ダダバエフ ティムール	本プロジェクト協力教員・人文社会系教授
27	委員	鈴木 寛之	国際室担当課長
28	委員	関本 啓子	学生交流課長
29	委員	鈴木 早苗	人文社会エリア支援室長
30	委員	岡島 隆治	医学医療エリア支援室長
31	委員	安達 理佳	グローバル・コモンズ機構担当課長

資料4 令和2年(2020年)度 外部評価委員会委員一覧

敬称略

	役割等	氏名	所属・役職
1	委員長	當作 靖彦	カリフォルニア大学サンディエゴ校 教授
2	副委員長	小野澤 正喜	育英短期大学 教授
3	委員	藤谷 浩至	国際協力機構 (JICA) 評価部 部長
4	委員	中里 太治	国際協力機構 (JICA) 東・中央アジア部 部長
5	委員	武田 善憲	外務省欧州局 中央アジア・コーカサス室 室長
6	委員	村山 えりか	つくば市市民部 市民活動課 国際交流室 室長

資料5 令和2年(2020年)度 プロジェクト教員スタッフ一覧

敬称略

運営体制	氏名	職位・役職	役割
プロジェクト実務責任者	臼山 利信	人文社会系 教授	全体統括
プロジェクト実務副責任者	小野 正樹	人文社会系 教授	全体統括補佐
プロジェクト実務副責任者	加藤 百合	人文社会系 教授	全体統括補佐
プロジェクト担当教員 (令和2年6月16日着任)	山本 祐規子	人文社会系 准教授	プロジェクト推進業務 担当
プロジェクト担当教員 (令和3年2月1日着任)	インセバイエヴァ・ サビーナ	人文社会系 助教	プロジェクト・アドバイ ザー
プロジェクトコーディネーター	梶山 祐治	インターナショナル・ アドミニストレーター	広報・企画等担当
実務スタッフ ※退職済み(在職期間:平成31年1月 1日~令和2年6月30日)	笹山 啓	非常勤研究員	海外研修・インターンシ ップ支援担当
実務スタッフ	グロマリエフ・シラリ	非常勤研究員	留学生サポート担当
実務スタッフ ※退職済み(在職期間:平成31年1月 1日~令和3年1月31日)	インセバイエヴァ・ サビーナ	非常勤研究員	HP・ニューズレター 英文他担当
実務スタッフ (令和2年10月16日着任)	インセバイエヴァ・ ナフィーサ	非常勤研究員	フェロー指導サポート 担当
支援スタッフ	古徳 あき子	非常勤職員	会計担当
支援スタッフ	谷越 祥子	非常勤職員	総務担当

令和2年度(2020.4～2021.3)  
日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA プロジェクト)  
Nippon-Foundation Central Asia-Japan Human Resource Development Project  
事業報告書

---

2021年12月1日発行

監 修 白山 利信  
編集・校正 梶山 祐治 (主担当)、山本 祐規子、谷越 祥子  
発 行 者 白山 利信  
発 行 所 筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」  
茨城県つくば市天王台 1-1-1  
Tel: 029-853-4251  
E-mail: info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp  
Web: <https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/>  
印刷・製本 株式会社アイネクスト

---







筑波大学「日本財団 中央アジア・日本人材育成プロジェクト (NipCA)」  
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学  
Tel. 029-853-4251  
E-mail: [info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp](mailto:info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp)  
Web: <https://centralasia.jinsha.tsukuba.ac.jp/>